



国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

国際陶磁器フェスティバル美濃 とは

——— 日本を代表する陶磁器の国際的な祭典

岐阜県南東部に位置する多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市は、一千数百余年の歴史を有する国内屈指の陶産地として発展して参りました。この地域で生産される陶磁器は「美濃焼」と呼ばれ、国内の和洋食器、タイル等の生産において高いシェアを誇っています。また、複数の人間国宝を輩出するなど、多数の陶芸家も陶磁器文化の担い手として活躍しています。

その岐阜県東濃地域（東美濃地域）において、陶磁器の文化と産業の振興を目的に計画されたプロジェクトが“国際陶磁器フェスティバル美濃”です。

第11回となった前回、国際陶磁器フェスティバル美濃のメイン催事「国際陶磁器展美濃」には、60の国と地域から2,466点の作品の応募があり、その他「産業地域振興事業」を19事業行い、148,515人に来場いただきました。イタリアのファエンツァ国際陶芸展、韓国の世界陶磁ビエンナーレ、台湾の台湾国際陶芸ビエンナーレと共に世界四大陶磁器コンペティションと称される、国際的な陶磁器の祭典となっています。

○前回展覧会金賞作品



『Topological Formation』
加藤 智也



『Hundred Rice Bowls』
SITA WONG

○前回展覧会会場風景



◆開催概要

- 名 称 : 「国際陶磁器フェスティバル美濃'20」
- テ ー マ : 「土と炎の国際交流」
- 会 期 : 2020年9月18日（金）～10月18日（日）【31日間】
- 開 催 時 間 : 午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）
- 会 場 : 多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市
（メイン会場）セラミックパークMINO

※過去の開催概要は <https://www.icfmino.com/archive/> をご覧ください

◆ イベント内容

第12回国際陶磁器展美濃

世界各国から出品された数多くの作品の中から厳選された、約180点の作品を展示する陶磁器のコンペティションです。国内はもとより、海外からも多くの来場者が訪れます。

○ 募集概要

【テーマ】

「やきもののゆくえ」
 既成の概念にとらわれず、自由な発想でやきものの未来を切り拓く作品を求めます。

【募集部門】

■ 陶芸部門

自由な発想と手法による陶芸作品

■ 陶磁器デザイン部門

① ファクトリー分野

実用機能を有するファクトリープロダクト

② スタジオ分野

実用機能を有するスタジオ(個人)プロダクト

【応募受付期間】

応募受付開始日：2019年11月1日（金）

応募受付締切日：2020年1月10日（金）

【賞】

賞	部門		陶磁器 デザイン部門
	陶芸部門		
グランプリ	500万円	1作品	
金賞	200万円	1作品	
銀賞	100万円	1作品	各分野 1作品
銅賞	50万円	2作品	各分野 1作品
審査員 特別賞	10万円	5作品	5作品
坂崎重雄 セラミックス 賞	50万円	1作品	1作品

※第11回国際陶磁器展の様子は https://www.icfmino.com/icc/icc_11/ をご覧ください

産業・地域・文化振興事業

1. 主催事業

美濃焼とその陶磁器産業の発展、そして東美濃地域の活性化を目的に、国際陶磁器フェスティバル美濃をこれまで以上により国際的な祭典として世界へ発信できる事業を実施。

2. 共催、協賛事業

東美濃地域の発展を目指した事業を広く募集。

※第11回の様子は https://www.icfmino.com/archive/2017_detail/ をご覧ください